

編集後記

さすがに新型コロナウイルスの感染拡大が1年半以上も続くと、同窓会である国大化学会の活動も低調にならざるを得なかった。社会的には平常時であれば当然行われていた様々なイベントが延期や中止になったが、当会でも総会は昨年引き続き2年連続で中止となり、OB・OGとの交流もほとんど実施できなかった。金銭面で学生や母体となる化学E Pを支援する活動は継続しているが、なんとも寂しい限りである。

昨年、理工系学部創立100周年を迎えたが、今回のコロナ禍は、関東大震災、第2次世界大戦に次ぐ数十年に一度の災禍といっても過言ではない。コロナ鎮静化には、ワクチン接種率の向上がカギになるといわれているが、いつになったら活動を正常化できるのだろうか。ただし、このような状況下での正常化はコロナ禍前に戻るのではなく、新たな仕組み構築や対応力の向上を実現して、より進化した社会を作り上げることが求められている。

2021年9月

<会誌グループ 米山俊夫（昭和50年応化卒）>

国大化学会会誌 第19号

発行日 2021年10月1日
発行責任者 横山幸男
編集責任者 米山俊夫
発行者 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
横浜国立大学理工学部化学系同窓会
国大化学会
Tel 045-339-3925（直通）
e-mail yokochem@ynu.ac.jp
印刷者 〒240-0065 横浜市保土ヶ谷区釜台町41-10
洛陽出版印刷株式会社 Tel 045-337-0034